

児童研究

社會の改善も、人類の向上も、文明の進歩も、國家の發展も、
詮じつむれば、ただ善良の兒童を得るにありと言ふことにな
る。兒童を愛する國は興り、兒童を顧みざる國は亡ぶ。これは
千古萬古變ることなき箴言である。兒童の研究は、ひとり教
育家や、醫家に一任して置くべきものではない。世の父兄自
ら研究すべき筈のものである。兒童の研究は即ち我を愛し、家
を愛し、國を愛し、人類を愛することになる。兒童のために最
善を謀らざる家庭は、決して幸福を望むことは出來ぬ。我儕
は何人も兒童の研究に興味を持たれんことを切に希望してや
まないのである。

○會費半箇年分金九十錢 同一箇年分一圓八十錢○兒童研究は毎月一回二十
五日發行○會員には無代頒布○見本金十五錢

東京市本郷區千駄木町五十番地
日本兒童學會

日本玩具研究會の事務所も附設相成候間此の際奮て御入會被下度入會
金も不要大改革の好時期に御座候(御申込次第規則書送る)

(○)

新築落成に付左記の處へ移轉仕 候間不相變御引立の程願上候

麹町區三番町六番地

幼稚園用品商 フレーベル館

(九段招魂社の南入口前電車通)

電話番町二九〇〇九
振替東京一九六四〇九

三階に陳列室も有之幾分御参考品も可有之と存候間九段邊へ御序の節
は是非御立寄願上候不相變店員一同獻身的に日夜研究罷在候

